

日本福音ルーテル教会 女性会連盟 第23期 152号

会報



総主題「共にいてくださる主を信じて」
副主題 信仰と、希望と、愛

2016. 4. 15

発行 日本福音ルーテル
教会女性会連盟
〒169-0072 東京都新宿区
大久保 1-14-14
発行者 芳賀 美江
編集者 柳井 悦子
印刷 平山印刷出版

主題聖句

「それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。」

コリントの信徒への手紙一 13章 13節

この冊子の初めに、ルーテル世界連盟事務局長マルティン・ユンゲ牧師が次のような言葉を述べておられます。「聖書に基づく正義と公正の促進という使命は、ルーテル世界連盟（以下LWF）共同体の自己理解の中核をなすものです。（中略）これはすべての人々、特に教会の指導者、牧師、役員立場にある女性と男性、プログラムやプロジェクトを運営する人々が、ジェンダーの公正は信仰の事柄であることを確認するための招きです。ジェンダーの公正は、教会が教会であるために、また教会が公共社会における預言者的な声であるために、何が無くしてはならないものかを指し示しているのです。」

（「ジェンダー公正への道」1頁）
そして更に、この取り組みは来る2017年、ルター宗教改革500年という記念すべき時に向けて、絶えず自らを刷新してゆく使命に生きる私たちを自覚めさせる神の招きであり、神の力によって、教会は女性と男性双方による正義と公正に基づく関係性へと変革され得ると結ぶのです。1952年LWFに女性部門が初めて加えられ、1975年女性部局が設立。そして、1984年総会にて、全ての世界レベル及び地域レベルの委員会と専門委員会、作業部会の構成に、次の男女比率が適用されることを決定しました。
男性40% 女性40% 青年20%（青年枠にも、この男女比率を適用）LWFのこの働きがけは、いまだ教会と社会の中で困難に直面している世界の女性たちのためであり、宗教改革500年は、ルーテル教会の女性たちに、そして私たちに、何を語るのでしょうか。女性たちの宗教改革500年に、神の祝福を！

あなたへ



女性たちの宗教改革500年

保谷教会牧師 平岡 仁子